

広報

おおだて

1989年 3月1日号 (No.480)

住民登録

(2月1日現在)
 人口・70,082人(-37)
 { 男33,176
 女36,906
 世帯数・22,239世帯(+5)
 ()内は前月比

編集と発行 大館市役所総務部企画調整課

環境浄化宣言都市

市の木・秋田杉 市の花・キク



ひな人形は手作りで

2月15日、婦人会館で「ひな人形づくり講座」が開かれました。この講座は、手作りのひな人形を飾ってひな祭りを祝ってみたいと開いているもので、今年で3回目。和紙を1枚1枚でいねいに張り合わせる「くるみ絵」によるひな人形作りに、真剣な表情で取り組んでいました。

わがまちの情報案内

市では2台の電話を使って、各施設などで行われる1週間分の行事や情報をお知らせするテレホンサービスを実施しています。どうぞご利用ください。

- ◇文化・体育情報は ☎43~2211
- ◇市の各種行事は ☎43~3300

「この花は、お父さん(金弥さん)が十年くらい前に植えたの。いつもは、三月にならないと咲かないんだけど、今年は雪が少なかったから一カ月も早く咲いたんだよ。」

佐藤 早紀ちゃん
(立花字街道脇)



福寿草

「花の好きな方を募集」——広報「花歳時記」に登場していただく花の好きな方を募集しています。自薦、他薦を問いません。どうぞ広報統計係(☎49~3111内線268)へお知らせください。

皆さんのアイデアで

ふるさと創生を!!

国では、「自ら考え自ら実践する地域づくり」事業として、全国市町村に一律一億円を配分し、自主的・主体的な地域づくり事業を支援することにしました。

市では、この事業を実りあるものとするため、広く市民の皆さんから「我がふるさと創生」のアイデアを募集します。



「自ら考え自ら実践する地域づくり」事業の実施期間は、昭和六十三年度から平成元年までの二年間です。この事業は、地域の歴史、伝統、文化、産業などを生かし、独自の・個性的な地域づくりを行うことを目的としています。事業を推進するための財源一億円が、昭和六十三年度(二千万円)と平成元年度(八千万円)の二カ年にわたって、国から交付されます。

アイデアを

お寄せください

市では、これまで皆さんと供に、大館の活性化、今後の方向等を模索してきましたが、今、「ふるさと創生」のための一億円を起爆剤として、個性的、魅力的なふるさと・大館「づくり」に取り組みたいと考えています。皆さんのご意見、アイデアをどしどしお寄せください。

〈事業例〉
・人材の育成・まちおこし・国際交流・地域個性の確立とイメージづくり・福祉サービス・健康づくり・生涯学習の推進など

▽応募方法
ハガキ、封書及び市長への手紙(本年一月一日号折り込み)など、用紙は自由です。差し出し人の住所、氏名、電話番号を、必ずお書きください。
▽応募締め切り
3月25日(土)必着
▽応募先及び問い合わせ
〒017 大館市字中城20
市企画調整課企画係
☎49-3111(内線269)

おいでください

ふるさと創生

市民アイデア会議

市では、ふるさと創生について、市民の皆さんから直接アイデア、ご意見などを伺うため、「ふるさと創生市民アイデア会議」を開きます。

会議は、フリートーキング形式で行いますので、多くの皆さんのご参加をお願いします。

とき・3月25日(土)

午後2時～5時

ところ・中央公民館

視聴覚ホール

市長メモ

暖冬



No.4

雪のないアメツコ市。皆さんのご協力で大成功に終わることができました。暖冬によるフラスの面も多くありましたが、雪像コンクルの中止など、マイナスの面もありました。

どこへ行っても、あいさつの初めは決まったように「いいお天気で……」でした。

市の台所からすれば、除雪経費は少なくて助かりますが、逆に、それ以上に多額の道路補修費が控えています。市民生活でも、同じような現象が起っているのではないのでしょうか。

年間の降水量や気温は、ほぼ決まっているとされています。とすれば、暖冬の分の降水量、気温が、どの時期に、どんな形で現れるのでしょうか。今から心配でなりません。特に農作物への影響や災害が。

こんなことを考えながら、先に思いをめぐらすと、やはり冬は冬らしく、夏は夏らしくあってほしいと思うのは私一人でしょうか。

ふるさと創生

下水道のはなし



シリーズ1

大切な下水道

豊かな自然と健康で快適な生活環境は、私たちみんなの願いです。

下水道は、家庭や工場から排出される汚水などを、地下に埋設した下水道管で処理場に集め、

化学的・衛生的に処理し、きれいで安全な水にして川へ戻す役目をします。

私たちの生活が豊かになるにつれて、家庭で使われる水の量はだんだん増えていきます。また、産業の発達にもよって、工場などで使われる水の量も増加の一途をたどっています。しかし、水は限りある大切な資源。一度使われた水を、きれいで安全な水にして自然に戻すという下水道の役割は、今後私たちの生活の中ますます大きくなっていくことでしょう。

下水道が完成するまでには、長い年月と巨額の建設費がかかります。また、排水設備工事や受益者負担など、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いしなければなりません。

下水道の建設は、自然と資源を守るための私たちの義務なのです。

です。

「子に贈る 大きな遺産 下水道」。下水道は、私たちみんなの財産です。この下水道事業をよりご理解いただくため、今回からシリーズで「下水道のはなし」をお送りします。

63年度は約5,000メートル

下水管を埋設

大館市の下水道事業は、昭和六十二年度からスタートしました。

六十二年度は、舟場地内に下水道管二百二十三メートルを埋設しました。今年度は、南神明町、小館町地内及び泉町、常盤木町の一部に、下水道管(直径二十五・六十センチ)五千十三メートルの埋設工事と、マンホール百五十二個の設置工事を進めています。



▶南神明町での下水道工事

〈下水道マンホールのふたの図柄〉

大館市の下水道マンホールのふたには、秋田犬と秋田杉がデザインされています。



▼元気いっぱい、汗いっぱい

二井田地区子ども会大会が2月19日、二井田公民館で行われました。例年は雪上で開かれているこの大会ですが、雪不足のため屋内での開催となり、子どもたちはちょっぴり残念そう。それでも、カンケリゲームやもちつきなどで元気いっぱい汗を流していました。



▲有浦小学校がアベックV

——市民スキー大会小学校リレー——

2月5日、市民スキー大会が道目木スキー場と市民の森で開かれ、選手たちは応援団の声援を受けて各競技で力強い滑りをみせました。

市民の森で行われたノルディック競技小学校リレーでは、男子は有浦が四連覇を達成し、女子も有浦が優勝。アベック優勝を飾りました。

フ
オ
ト
・
ニ
ュ
ー
ス

広報市民リポーターだより

昭和63年度の広報市民リポーターによる執筆は今号が最終回です。今回は取材報告ではなく、各リポーターが今感じていること、考えていることなどを自由に書いてもらいました。

だれかのために

そして自分のために

畠山 智子

私たちの生活の周りで、さまざまなボランティア活動が定着してきていますが、果たしてどれだけの理解が得られているのでしょうか。

子供たちのため、身体の不自由な人たちのため、お年寄りのためにと、たくさんの方の無償の愛による活動が心を込めて、時には自分の生活に支障をきたしながらも行われています。しかし、ボランティア活動に携わるほとんどの人が、一生懸命になればなるほど思うに任せない状況にぶつかったり、肝心な市の公共機関での「こころ」無い事務的な対応に戸惑い、時には腹立たしさを感じているようです。ボランティアというものにこそ、臨機応変な対応が是非とも欲しいものです。

日常生活の中で、心のすれ違いがあつたり、思うように相手に気持ち伝わらなかつたり、また、つらく苦しい時や悲しみのどん底にある時でも、私たちは一生懸命生きていかななくてはなりません。人それぞれにその「一生懸命」が違っても、時には人の力を借り、時には人に手をさしのべる。そんな心と心の触

畠山 智子リポーター

(相染沢中岱)



れ合いを大切にして、自分だけの殻は破ってみてはどうでしょうか。

ボランティアは、けっして人のためにだけではなく、それぞれが自分自身のために汗して頑張っているのだと思えるのです。

取材を振り返って

成田 弘美

農家の後継ぎたちの集まりである団体を二度にわたって取材しました。どちらも新規の加入者不足による会員の減少傾向が最近顕著で、それが組織率の低下や会員不在地区の増加を招き、活動そのものにさえ影響を及ぼしてきているような現状でした。こうした若者の農業離れや無関心に対して、もちろん行政や農業団体も後継者へ担い手育

成田 弘美リポーター

(柄沢)



成などのためにさまざまな対策を講じています。しかし、指導する機関・団体は数多くありますが、指導を受ける農家は一つです。それぞれの立場にとられ過ぎることのない、指導機関同士の連携による対処が今後更に必要とされるでしょう。

受け入れ側の農家としては、自分の田にだけ水が入れば良いというような従来の意識を変え、農業が抱えている問題について、単に感情的な反論に終始するのではなく、建設的な将来への展望を堂々と述べるべきでしょう。そのためにも専業、兼業農家ともに自分たちの置かれている立場を見つめ直し、自ら認識を高めることが大事だと思うのです。

農家の後継ぎとしてムラの中

菅原 馨リポーター

(葛原)



に根を張っていく若者たちが、農業に対する問題意識を通じて、基本的な認識を高めることは、地域社会の活性化に不可欠ではないでしょうか。

ロマンのふるさと

大館はこれから

石川 富男

平成が明けて暦の上ではもう啓蟄が近づいています。小川の水が温み、桃の芽がふくらみ、やがて緑にもえる山河は、大自然の奏でるパフォーマンスです。先般行われた環境庁の「みどりの国勢調査」によると、植物群落データで、秋田県とその隣接地帯が上位にランクされています。豊かな天然資源に恵まれた大館市は、名実ともに緑のメッカといえるでしょう。

さて、大館市の「総合開発計画」をのぞいてみると「恵まれた自然との調和の中に近代的産業を興し、市民の豊かな生活と創造を促し、活力に満ちた地方中核都市の建設」を掲げてあります。大館市は教育、文化、福祉をはじめ、健康的で便利な住みやすい都市づくりを目指し、高速交通ネットワークづくりや都市機能の近代化、産業の振興をはかり、働く職場の充実に力を入れていきます。一方、澄んだ水と空と緑の中で情緒あふれる「ロマンのふるさと」大館は、私たちの誇りであり、心のこもった観光のまちとしてのチャームポイントです。



石川 富男リポーター

(栄町)

大自然の魅力をしみじみかみしめながら、心のかよう明るいまち、活力に満ちた地方中核都市の建設に、市民、行政挙げて取り組んで行くことを願わずにいられます。



前沢 綾子リポーター

(相染沢中岱)

化活動の発展を願いながら今日で十三年の歳月がたちました。読書はスリルと冒険とを味わせ、幾多の生活体験を示しながら、思想の豊饒の世界へと導いてくれるのです。それまで見えなかった世界が、自我を乗り越えて見えてくる時、読書の持つ魅力を子供たちとともに感じています。



伊藤 正行リポーター

(美園町)

子供たちとともに

前沢 綾子

人を通してイメージを売ることも、活性化につながる大館の顔づくりだと思えます。

この地の教育文化を思う時、人づくりに寄せる期待として親子読書会の歩みに思いが向けられます。人とのつながりを地域に向けて、他者の無感心を自分の姿に持っていき、愛と希望のある地域活動を実践している仲間たちです。図書館と読書でつながりを持って、子供たちの文

こんな触れ合いの中で、人づくりがなされることは素晴らしいことだと思えます。このような活動が、地域活動にいくらかでも役に立てば、手助けになればと考えています。

小さな歩みでもこれから先、図書館とともに地についた活動を重ねること、大きな大館の顔づくり、市の発展につながる日が訪れるのではないかと思っています。

イメージアップを

伊藤 正行

過日、大館市外の出身で、ある民間企業出先機関幹部の方から、大館の現状に対する印象や問題点に関するお話を伺う機会がありました。

例によってそのイメージは、暗く停滞した活力に乏しいまち。ドラスチックな変革に相反して、ある種かたくなまでの保守的意識と、より良い変化を望まないかのように見えるほどの行動力の欠如を指摘していました。

私は改めてショックを受けるとともに、しからは自分自身は何かまちの活性化と発展に資する行動をとっているだろうか？と自省の念も覚えました。大館がこのように見られる原因と問題点は何かと言うと、①体裁を気にし過ぎる②いふりこきである③世代交代が各方面で進んでいない④人材教育への熱意の欠如の三つが挙げられました。

私も他市出身者として同感でしたが、今後は問題点の指摘や批判にとどまらずに、一住民としていかにすれば我が愛するまち大館となり得るのかという問題意識を持って、微力ながら地域活性化の命題に取り組んでいきたいと思っています。

広報市民リポーターを募集！

あなたのペンで

広報「おおだて」

広報「おおだて」をより身近で、充実したものにするため、市民リポーター制度を設けています。

広報を作ってみたい、あれを取材したい、これが知りたいという方、ドシドシ応募ください。

■広報市民リポーターのしごと

(1)編集会議への参加(年四回)

(2)取材・記事の執筆(年三回)

(3)地域での話題や出来事などの情報提供

(4)広報への提言

■委嘱期間

平成元年五月～二年三月末日

■資格

十八歳以上の市民(高校生除く)

■応募方法

広報についての感想文(四百字前後)に、リポーターとして取材したいこと二つとその理由住所、氏名、年齢、性別、家族構成、職業、電話番号を書いた別紙を添付してください。

■応募先及び問い合わせ

〒017 大館市字中城二〇番地

市企画調整課広報統計係

☎49-3111(内線268)

■決定

応募された方の中から、審査のうえ六人に「広報市民リポーター」を委嘱します。

「おおだて」を委嘱します。

米の生産調整の経験を踏まえ、二十一世紀へ向けた農

業のあり方を展望した長期的観点に立った創意工夫を!!

地域農政推進大会

二月二十二日、地域農政推進大会が文化会館で開催され、農政推進員、農業団体関係者など、約三百人が参加しました。水田農業確立対策前期の最終年にあたる平成元年度。後期へのスムーズな移行を目指すとともに、農業の新しい展開を見い出そうという意気込みが感じられました。

大会では、平成元年度の水田農業確立対策の推進方針をはじめ、転作や複合経営の体験発表、「あきたこまちの安定多収栽培と冷害克服について」と題した講演や、各種競技会、米消費拡大コンクールの成績発表並びに表彰などが行われました。

転作率二四・六%

平成元年度の転作等目標面積配分は、六十三年度同様一律二・六%の転作率で配分することになりました。また、六十三年度から実施されている米需給均衡化緊急対策についても、現在の米の在庫が依然過剰基調にあることから、引き続き実施す

ることになりました。

これにより、昨年と全く同様に、二二・六%に二%を加えた二四・六%の配分となります。

他用途利用米

増枠配分

転作の内数として計算される他用途利用米については、米需

給均衡化緊急対策の分として六十三年度より千二百四十八俵多く配分がありました。これは各農家へ、転作目標面積に一律一七・八%で配分(六十三年度は一六・五%)します。他用途利用米は強制ではありませんから、取捨選択は各農家にお任せします。なお、限度数量も昨年と同量の配分がありました。

米消費拡大コンクール

(作文・図画・標語)

川口小・六年
佐々木梢
「米を食べよう」
城南小・六年
浅野大樹
「米飯大好き」



米消費拡大コンクールには、作文・図画・標語の各部門へたくさんの作品が寄せられました。その中から、最優秀賞を受賞した三人の作品をご紹介します。

〔標語〕

城南小・三年 羽沢貴子

『朝の一ぜん』

大きな健康

米を食べよう

佐々木 梢

このごろ、テレビを見るとよく目につくことがあります。それは、米の消費量が大変へっていていることです。米は、昔から日本人の主食だったはずですが、私達の遠い祖先は、もう二千年以上も前から大切にしてきました。そして、米を作ることによって生き続け、子孫に伝えてきました。でも、昔は大きな米などで米がとれなく、死んでいった人もたくさんいました。今は、何でもあるという時代ですが、何千年もの時のながれの中で、米作りは、改良を重ねて、今のようになってきたのです。その米を私達はもっと大切にしなければならぬのではないのでしょうか。

今、外国の米が輸入されると、日本の十分の一くらいの値段で売られるそうです。そのようになると、たぐでさえへっている日本米の消費量はもっとへってしまいます。私は外国の米は輸入しないでほしいと思います。それに、日本人の主食は、昔から米だったはずですが、今では、パンなどを主食として食べている人がたくさんいます。それにメン類なども多量にまわっています。そして、日本人は、日本米の味を忘れてしまっているのではないのでしょうか。しかし、

日本人は、昔から米を食べて生きてきました。そのため米には、たくさん栄養とともに、日本人にとって必要な栄養もたくさんふくまれていると思います。それは、パンやメン類・外国の輸入米などではとれないような何かだと思っています。そのため、米はもっと食べるようにしてほしいと思います。また、米は一食を見てもパンよりは、だいぶたくさん栄養がとれると思います。米を主食としている人は、食事をするとき、たいていみそしるを飲むでしょう。しかし、パンでは、牛乳、またはスープなどでしょう。飲み物一つとっても、ご飯とパンではこのようになちがいがあります。おかしになるともっとたくさんのがいがあるのではないのでしょうか。ですから、もっとご飯を食べるようにしたらよいと思います。私は、米は私達日本人にとって、かかせない物だと思っています。また、米はたくさん使っている方があります。米を主食としてだけでなく、おやつなどとしても食べてみたい人や洋食で食べてみたい人などは、ドリアやパイなどにして食べてみればよいと思います。このように米をいろいろな方法で楽しく食べるようにすればよいと思います。米をたくさん食べましょう。

元気でがんばります

—出稼者就労先懇談会—

出稼者を激励し、出稼先での安全就労を推進する「出稼者就労先懇談会」が、先月10日から13日まで、名古屋、小田原、東京、群馬の4会場で開かれました。東京の会場には約60人の出稼者が出席。市長が大館の現況報告をしたあと、「風邪をひかないように」とアメッコ市のアメをプレゼント。出席者は、久しぶりに大館弁で古里の話に花を咲かせ、楽しいひとときを過ごしました。

▶久しぶりですね。まず一杯。(東京会場)



◀みんな元気でくす。(小田原会場)

おとうさんへ

おとうさんげんきですか。わたしもいさんもゆっちゃんもみんなもげんきです。おしよがつにかえったとき、おもちゃをかってもらってうれしかったです。いまでもまいにちあそんでいます。十七日から三がつきははじまりました。またあおやぎせんせいからならっていただきます。

こんど学校でたいいくのじかんにすきをやるので、おじいさんがわたしとに



▶やっぱり、秋田のサゲはンメなア。(東京会場)

いさんとゆっちゃんをおおゆすきーじょうにつれていってくれました。とてもおもしろかったです。ゆっちゃんは、はじめてすきーにのったのわたしよりもたかいところからすべってきました。いさんは、二十二かいもろうぶにのりました。おとうさん、からだにきをつけてはたらいてください。わたしもいさんもべんきようをがんばります。ときときは、でんわをください。ではさようなら。

ちぐさより

※この手紙は、福田千草ちゃん(成章小一年)が、東京へ出稼中のお父さん(満則さん)へあてたものです。

農耕用軽油の

免税証を交付

とき・4月6日、7日
9時～15時

ところ・北秋田県税事務所

◇新規申請に必要なもの

・機械の購入証明書等

・耕作証明書

・申請者の印鑑

・県証紙(350円)

◇継続申請に必要なもの

・免税軽油使用者証

・耕作証明書

・申請者の印鑑

・前回購入した免税軽油の納品書(前回の免税交付数量が200リットル以下の場合には不要です)

※免税軽油使用者証の有効期限が年の途中で切れる場合や、機械に変更がある場合は、新規の扱いになります。

問い合わせ・北秋田県税事務所
☎49-2211

あなたの耳を

大切に

3月3日は「耳の日」です





中央公民館の窓

サークル会員募集

- ▽ふたば大正琴
とき・毎月第2・第4火曜日
13時～15時
 - ▽和裁金曜会
とき・毎週金曜日
10時～15時
 - ▽清水会(煎茶)
とき・毎週木曜日
13時～17時
 - ▽着付け教室
とき・毎週月曜日
10時～12時
 - ▽第二書心会(書道一般)
とき・毎週木曜日
13時～15時
- ※参加ご希望の方は、例会日に直接会場でお申し込みください。
- 将棋教室へ参加しませんか
とき・3月23日、25日、26日、27日、28日
13時30分～15時30分
- 対象・小学生以上の市民

県育英会学生寮に 入りませんか

定員・50人
参加料・無料
申し込み及び問い合わせ
中央公民館 ☎42-4369

対象・今年4月に、各寮所在地近郊の大学に入学を許可された方

人員・東京寮(世田谷区) 男子 35人
川崎寮(川崎市中原区) 女子 20人
北盟寮(札幌市中央区) 男子 20人

募集期間・3月7日～24日
※入寮希望者は、60円切手をはった返信用封筒を同封のうえ、希望する寮名を明記して要項を請求してください。
申し込み及び問い合わせ
〒010 秋田市山王4丁目1-2
財団法人 秋田県育英会
☎0188-60-2184

献血にご協力を

▽3月7日(火)
8時30分～9時30分
水門前 伊藤組
9時50分～10時30分
獅子ヶ森 大館家具木工
10時50分～11時40分
餌釣 戸田鉄工

14時～16時50分
大町 トノムラ薬局
▽3月8日(水)
8時30分～9時40分
花岡町 花岡鉱業
10時～12時
いとくショッピングセンター

▽3月9日(木)
8時30分～9時20分
東台 東北電力大館送電所
▽3月14日(火)
9時20分～10時30分
根下戸新町 農業会館

15時～16時50分
ジャスコ
▽3月15日(水)
8時40分～9時30分
有浦 秋北バス大館整備工場

通信教育で あなたも高校卒業

秋田東高校通信制課程

募集人員・新入生 300人
転・編入生 若干名
入学資格・中学校を卒業した方(今春卒業見込みの方を含む)または、これと同等以上の学歴を有する方
提出書類・入学願書、健康診断書、出身中学校の調査書、写真
申し込み及び問い合わせ
県立秋田東高校通信制課程
☎0188-34-0473

国民健康保険証が 新しくなります

四月一日から国民健康保険証が新しくなります。このため現在の保険証と新保険証との交換を表のとおりに行います。

◇時間

9時30分～12時、13時～16時

◇持参するもの

保険証、通知のハガキ、印鑑
指定された日が都合の悪い方は、指定日以降(三月三十一日まで)に市役所第二会議室へおいでください。

◇問い合わせ

保険課関係(内線235)



対象地区	月日	会場
長木地区	3月/15日	長木出張所
花岡地区	15、16日	花岡出張所
矢立地区	16日	矢立出張所
大滝、平内、曲田、軽井沢 道目木	17日	大滝集会所
十二所地区で 上記以外の町内	17日	十二所出張所
中山、沢山、羽立、金谷 餌釣、池内	20日	上川沿出張所
上川沿地区で 上記以外の町内	24日	市役所第2会議室
川口、立花、西大館、隼人町 鳴滝、赤石沢、大道下、横岩	20日	下川沿出張所
下川沿地区で 上記以外の町内	24日	市役所第2会議室
真中地区	22日	真中出張所
二井田地区	22日	二井田出張所
松木、沼館、上袋町	24日	市役所第2会議室
釈迦内地区で 上記以外の町内	23日	釈迦内出張所
大館地区	24～29日(26日除く)	市役所第2会議室

税金の納め忘れは ありませんか

三月は年度末。六十三年度の市県民税、固定資産税、軽自動車税、国保税などに納め忘れはありませんか。もう一度お確かめください。

なお、病气や失業などで納税が困難という方は、国保税は保険課(内線242)、その他の市税などについては税務課(内線226)へご相談ください。

今年、高校へ入学する方が学校へ提出する住民票(写し)は、どこの出張所でも交付を受ける

高校入学の方へ

危険な所に建っていませんか
あなたの家

国、県、市では、がけ崩れなどの危険があつて、現在では建築が制限されている所に建っている住宅を安全な場所へ移転するという方に、補助金を出しています。

あなたの家

△補助内容
住宅の撤去や移転などに必要な費用(六十三年度の補助限度額は一戸当たり六十三万円)
建物助成費
住宅の建築・購入のため、金融機関から融資を受けた借入金の利子相当額(利率は八・五%が限度。六十三年度の補助限度額は土地と建物で一戸当たり二百三十四万円、建物だけは百八十四万円)
申し込み及び問い合わせ
都市開発課(内線342)

市民の善意

▽福祉事務所扱い
畠山弘さん(池内) 5万円

△教育委員会扱い
平成元年大館市42・33歳合同年祝い会
小型複写機

お気軽に ご相談ください

◇3月の各種相談日

法律・2日、16日
9時30分～12時30分

※事前に市民生活課(内線214)へお申し込みください。

交通事故・14日、20日、28日
10時～15時

家庭教育・毎週月曜日
9時～16時

社会保険・毎週水曜日
10時～15時

国税・27日
10時～16時
会場・市役所会議室

市県民税申告相談日		場所
3月 6(月)	午前	御成町1丁目1区・2丁目・3丁目 御成町市営住宅、雇用促進住宅
	午後	御成町1丁目2区～4区、つつみ町 緑ヶ丘、中道、栄町、清水町、東成町
7(火)	午前	昭和町、神明町、南神明町 東新町、田町
	午後	根下戸、舟場、小館花 南ヶ丘、天神緑町、八坂町
8(水)	午前	大正町、御坂、新富町、寺町、大町全区 常盤木町、仲見世、中道1区
	午後	長倉町、愛宕町、古川町 大下町、鉄砲場、曙町
9(木)	午前	未広町、弁天町、旭ヶ丘 川原町、新町、中町、馬喰町
	午後	御成町4丁目・5丁目 通町、独鈷町、新地、南町
10(金)	午前	桂城、金坂、赤館、部垂町 根下戸新町
	午後	桜町、相染町、向町 一心院、谷地町、泉町
11(土)	午前	美園町、北神明町、住吉町 小館町
	午後	片山全区、片山アパート 餅田団地
13(月)	午前	中神明町、東町、東有浦町 城西町、豊町、清水南町
	午後	柄沢、東台1区、有浦1丁目 アパート1号・2号・3号
14(火)	午前	東台2区～4区、有浦2・4・5丁目 田代町3区、三菱金属清水住宅
	午後	有浦3丁目・6丁目、水門町 長根山、田代町1区・2区
15(木)	午前	これまでの相談日に相談出来な かった方
	午後	★確定申告をされる方を除く (所得税対象者を除く)
◇時間		午前9時～正午、午後1時～4時
◇問い合わせ		税務課市民税係(内線232・233)

中国へ 旅してみませんか

—大館市民日中友好
訪中団募集—



大館市民日中友好訪中実行委員会では、日本と中国との経済・文化交流を目指して、中国訪問を計画しました。

現地では、北京人民大会堂での中国要人の夕食会や、代表的な文化に触れ合うことができると、豊かな収穫ある旅にするためのプランがいろいろあります。

また将来、大館市と友好都市提携へ発展することを願って、河北省承德市(人口十万人)への親善交流も計画しています。

と き・5月2日～10日
訪問先・上海、北京、西安、承德など

費用・339,000円
(大館・成田間の費用は含まれていません)

申し込み及び問い合わせ
大館市民日中友好訪中実行委員会(大館北秋労働会館内)

☎42-6539

◆作業停電のお知らせ◆

3月6日(月) 9時～11時30分 姥沢
3月10日(金) 9時～10時30分 中山の一部
3月17日(金) 9時～11時30分 松峰の一部

保健婦だより

12

予防接種

「予防にまさる治療はない」という言葉がありますが、予防接種の普及により、伝染病にかかる人は大幅に減少しています。病気は、かかってから治すより、かからないように予防することが大切です。

母親から受け継ぐ免疫

乳幼児は、一部の伝染病に対する免疫を、母親を通じて得ています。しかし、その免疫は、半年から一年ぐらいてでなくなってしまう。その後、に伝染病にかからないようにするために、予防接種を受けて免疫をつくらなければなりません。

予防接種は流行を防ぐ

昨年県内で、はしかが大流行しました。はしかは、地域の90%以上の子どもが予防接種を受けることによって、流行を防ぐことができます。

予防接種を受けるということは、伝染病から自分の体を守るということだけではなく、病原

菌を社会へまきちらさないことにもなるのです。

予防接種法

国では、感染症疾病の発生及びまん延の予防、並びに公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的として、予防接種法を定めています。

この法律では、国民が受けるべき予防接種対象疾病の種類、接種対象年齢、接種時期などが決められています。

市(保健センター)では、この法律に基づいて、毎年、実施する予防接種の年間計画表を、全世帯に配布し、お知らせしています。

予防接種の対象疾病

▽定期接種対象疾病

- ・三種混合(百日せき、ジフテリア、破傷風)・小児マヒ(ポリオ)・麻疹・風しん

▽臨時接種対象疾病

- ・インフルエンザ・日本脳炎・ウイルス病

▽任意接種対象疾病

接種を受けるときは

接種対象疾病によって、予防接種の時期、対象者などが違いますので、接種を受けるときは、医師や保健婦の指導にしたがい、間違いのないように受けてください。

健康で幸せな一生を過ごすために、乳幼児から計画的に予防接種を受けましょう。

なお、保健センターでは、予防接種に限らず、保健、健康などの相談を受けています。どうぞお気軽にご相談ください。

保健センター ☎4219055

- ・おたふくかぜ・水痘・結核
- ▽その他接種対象疾病
- ・結核・B型肝炎

おいし〜いがっこ

上川沿農産加工婦人部

◆塩蔵ナスのからし漬け

材 料

- ・塩漬けたナス(塩、水ぬきしたもの) 2.5kg
- ・こうじ 200g
- ・しょうゆ 80~100g
- ・塩 55g
- ・からし 70g
- ・みりん 300g
- ・食酢 少々
- ・なんばん粉 少々

▶作り方

- ① 塩漬けたナスを十分に塩ぬきし、大きさによって、2つから4つに乱切りした後、重石をして水ぬきをする。
- ② こうじは、かたまりをほぐして水洗いをし、みりんを加えて一昼夜保温し、こうじを軟らかくする。
- ③ 洋がらしの粉を容器(茶わんなど)に入れ、少量の水を加えて固めに練り、その容器ごと皿に伏せて、上から少量の熱湯を注ぎ熟成させる(数10分)。長期保存用のものは、和がらしを使用する。
- ④ ②の軟らかくなったこうじに、しょうゆ、塩、食酢、なんばん粉を加えてかき混ぜる。
- ⑤ 大きめのボールに①のナスを入れ、②の合わせこうじと③の溶きからしを加えてよく混ぜ合わせる。
- ⑥ ⑤が終わったらポリ袋に入れ、空気を抜いて袋の口を締め、樽に詰める。重石は軽くしておく。

※食べごろは、漬け込み後3日目くらい。

家事援助員を派遣しています

〈家事援助員を派遣〉
市では、満十八歳未満の児童のいる、家庭生活に支障のある父子家庭(祖父と孫の家庭も含みます)に、家事援助員を派遣しています。

〈介護人を派遣〉
県では、母子家庭や父子家庭または一人暮らしの寡婦で、一時的な傷病のため日常生活に支障があり、介護者を得ることが困難な世帯へ、介護人を派遣しています。

▽内容

▽時間

- 居室の掃除、洗濯、繕い物、子供の食事の準備など。
- 1回の介護は8時間以内または4時間以内
- ※援助員、介護人も、前年の所得が児童扶養手当法に定める額未満の家庭に限り派遣します。
- 福祉事務所児童福祉係 内線209